



みやぎ視能訓練士の会
The Association of Miyagi Orthoptists



1月号の会報をお送りします。

～内容～

- | | | |
|----------|----------------------|-------|
| ① 新年のご挨拶 | みやぎ視能訓練士の会会長より | P2 |
| ② <報告> | 第2回全体会報告 | P3-P7 |
| ③ <お知らせ> | 第3回全体会のお知らせ | P8 |
| ④ <お知らせ> | コンタクトレンズ勉強会アンケートのお願い | P9 |

★☆☆会報に関してのお問い合わせは下記までご連絡下さい☆☆★

〒981-3627 宮城県黒川郡大和町吉岡東 2-8-10

かとう眼科医院 川上綾子

TEL 022-347-1682 FAX 022-347-1683

mail koho@myg-ort.com



koho





新春萬福

みやぎ視能訓練士の会会長
二本柳淳子

みやぎ視能訓練士の会の皆さん、明けましておめでとうございます。
皆さんそれぞれの想いを胸に新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年にも実に様々なことが国内外で起こり、日々の慌ただしさの中で自分を見失いがちになることもあったような気がしています。
そんな中でも新しい出会いや新しい発見、仕事の達成感等小さな喜びを見つけられる幸せは大切にしたいものです。
視能訓練士を取り巻く状況も少しずつ厳しさを増している現実があるようです。視能訓練士一人一人に役立つような会になるよう、新たな気持ちで取り組んでいきたいと思えます。「今年一番の頑張りを毎日更新する」ことが出来ればきっといい年になるはずです。会員の皆さんのご多幸をお祈り、新年の挨拶とさせていただきます。
皆さん今年もお健やかに。

令和二年はつはる



2020年1月吉日

2019年度 第2回全体会報告

「累進屈折力レンズについて考えよう」

日時：2019年11月27日（水） 19:00～20:30

場所：仙台市中小企画活性化センター セミナールーム 2B

参加人数：10名



ねらい

日常診療にまつわる累進屈折力レンズ眼鏡合わせについての疑問を解決しよう

今回の全体会は、グループに分かれ、各自持ち寄った症例や、累進屈折力レンズ(眼鏡合わせ)についての疑問などを話し合いました。眼鏡合わせをするためにどのような検査をするのか、どんな眼鏡がいいのかグループ毎に意見を出し合い、その後発表をしました。また、共通の話合う項目として、「中近・近々レンズはどんな人(職業・生活形態等)に向いているでしょうか。」についても話し合いました。各グループで出した内容を報告します。

症例1) 71歳 女性

主訴	遠近両用を希望
患者背景	緑内障（下方視野欠損あり）
視力	RV=(1.0×S-13.00D=C-0.50D A180°) LV=(0.8×S-11.25D=C-0.50D A180°)

経過

- (1) 下方の視野欠損があるため単焦点を提案した
- (2) 患者は単焦点ではなく、「遠近両用にしたい」と希望が強かった
- (3) 眼鏡の試しかけを行う
(以前は+1.25D 加入のであったが、今回は+3.00D 加入)

話し合った内容

視力は良好であるが、緑内障のため下方の視野欠損があり、遠近両用にした場合近方視に不具合が生じる可能性がある。患者に対しては遠近両用のメリットデメリットをしっかりと説明し、患者の意志を尊重する。

また、どのような説明を行ったか、説明に対しての患者の反応はどうだったか、記録に残しておいた方がよい。

症例 2) 57 歳

主訴 患者背景	パソコン作業と書類も見たい 正常眼圧緑内障 右：視野狭窄あり
レフ	右：S+1.25D C-0.50D A180° 左：S+1.25D C-0.50D A180°
眼鏡度数 (近見用)	右：S+1.75D 左：S+1.75D
視力	RV=(1.2) LV=(0.3)

経過

- (1) 加入度は+1.5D とし、距離を 45cm から 60cm へ変更した
- (2) 眼鏡練習後、最初は「見えにくい」
- (3) なるべく普段の状況を再現して検査した

話し合った内容

視力に左右差があり、緑内障のため視野欠損があった。

パソコン作業から書類までと作業距離に幅があるので実際どのくらいの距離でみたいのか測定してみてもいいのではないか。

累進の種類（レンズデザイン）は処方せんに記載するかどうかの話もでた。

症例 3) 68 歳

主訴 患者背景	車のメーターが見たい 3 回／週程度の運転 POAG
視力	RV=(0.2) LV=(1.0)

経過

- (1) 加入度を+2.50D とし、左のみ累進レンズにした
- (2) 装用し、本人の満足が得られた

話し合った内容

視力に左右差があるため、視力良好な左のみ累進レンズとした。

結果が良好だった症例報告

症例 4) 40 代 男性

主訴 患者背景	パソコン作業が遠用眼鏡では疲れる -5.00D 程度の近視
------------	----------------------------------

経過

- (1) 遠近両用レンズを+0.75D 加入で作成した
- (2) 実際使ってみると疲れてしまう
- (3) 近々のレンズで再作成
- (4) 遠近レンズの時は累進帯が短く見えにくかったが、近々では累進帯が長いいため見やすさがあがった

話し合った内容

パソコンでの作業が主であったため、累進帯の長さがより長い近々のレンズを選択することでパソコン作業が見やすくなった。
ほかに、モノビジョンにしてみてもいいかという意見も出た。

症例 5) 78 歳 女性

主訴 患者背景	遠近両用眼鏡か、近用眼鏡希望（かけくらべしたい） 運転はしない 両) Cat ope 後 両) SDR
視力	RV=(0.7×S+1.25D=C-1.25D A90°) LV=(0.7×S+0.75D=C-1.75D A90°) BV=0.6

経過

遠用	R) +0.75D C-0.75D A90° L) C-1.00D A90°	→「疲れず見える」
遠近両用	R) +0.75D C-0.75D A90° L) C-1.00D A90° 加入度+2.50	→「疲れず見えるが近くが見にくい」
遠近両用	R) +0.75D C-0.75D A90° L) C-1.00D A90° 加入度+3.00	→「疲れず見える近くが見やすい」 近方作業距離 20~30cm
近用	R) +3.75D C-0.75D 90° L) +2.75D C-1.00D 90°	→「疲れず見える」

遠近両用を希望されたため処方せんを発行した。

羞明があり、遮光レンズを紹介するも眼鏡店で色を合わせてもらうこととなった。運転はしていないので裸眼で不便がないときは眼鏡を常にかける必要はないことを説明した。近用は現在使用している眼鏡で間に合わせようかと思う、と本人より。出かけた先で使用するためのルーペも紹介した。

話し合った内容

本人の希望に合わせ、遠用、近用、遠近両用（加入度違い 2 種類）を装用練習し比べてもらった。何種類ものレンズをかけ比べてもらったが、本人がしっかり比較できるような場合は納得できるレンズ選択ができるのではないかと。また使用状況に合わせてより見やすい環境となるように、眼鏡あわせの際にルーペや遮光レンズの紹介をおこなった。

症例 6) 45 歳 女性

主訴 患者背景	パソコン作業が多いとかすみや頭痛がある 運転は毎日している 仕事では近見（20～25cm）パソコン業務（40cm）室内（2～10m）の行動
眼鏡度数	右：S+0.75D RV=(1.2 × PG) NRV= (0.8 × PG) 左：S+0.75D LV=(1.2 × PG) NLV= (0.8 × PG)
視力	RV=1.5 (1.5 × S+1.25D) NRV=0.5 (1.2 × S+1.50D) LV=1.5 (1.5 × S+1.25D) NLV=0.5 (1.2 × S+1.50D)

経過

- (1) 普段は裸眼で過ごすことが多いせいか、眼鏡をかけて遠くを見るとぼやける最近では近見用に使っている事が多い。
- (2) 持っている眼鏡は近見用で作ったのか、遠見用で作ったのか忘れてしまった

話し合った内容

もともと遠視があったが裸眼で生活していた症例。調節力の低下により、近方視がやや困難になり始めてきた。パソコン業務でかすみや頭痛があることと、遠方が見えているので仕事時に中近を試して見るのではいいのではないかと。

その他話題になったこと

- 中近・近々はどの様な方に適しているのか
→趣味、運転の有無
今までの眼鏡装用歴、乱視、個人の許容範囲（レンズの左右差など）
パソコン業務が多い、デスクワークが主の場合
立って歩く業務が少ない場合
- 加入度はどのくらいまでいれているか
→+2.50D くらいまでが多い
- どんな人に中近をすすめるか
→遠近で近くが見えにくい人、近々でもう少し遠くを見たい人にすすめてみる

お題：中近・近々レンズはどんな人（職業、生活形態）に向いているでしょうか。

どんな人にすすめますか？

中近	近々
日常生活用	デスクワーク
室内	PC と書類
遠方視が不要な人	編み物、楽器など
遠近や近々が合わない人に試してみる	高齢

その他

レンズデザインによって同じ度数でも遠近・中近・近々で適応が違うのでまず試してみてもいいかもしれない

グループ内でいろいろな意見が出ました。参加人数が少なかったせいか各自意見を出し合っていたように思います。累進レンズのメーカー毎のレンズデザインや近近、中近、遠近の適応はどんな人か、何となく想像することができたのではないのでしょうか。この勉強会を踏まえ、今月 22 日は累進レンズについて HOYA の小山さんにお話していただく予定です。皆様ふるってご参加ください。

第 3 回全体会の詳細は別紙をごらんください

学術担当：太田 (study@myg-ort.com)



みやぎ視能訓練士の会第3回全体会

事前
申込
あり

そうだったんだ “累進レンズ”

レイアウトを知ること
で累進レンズがわかる!?

日程 2020.01.22.(水) 19:00～20:45(予定)

場所 AER6階 仙台市中小企業活性化センター
セミナールーム2A

講師 HOYA株式会社 小山哲矢氏

今回の全体会は前回に引き続き、累進レンズについてです。

HOYA小山哲矢氏より累進レンズのレイアウト、累進レンズの選択、最近のレンズについて、また前回の全体会で出た質問についてもお答え頂く予定です。

「眼鏡合わせでどんなレンズを選んだらいいかいつも悩みます。」

「デスクワーク中心の人に中近がいいのか遠近がいいのか、どれをすすめようかしら。」

累進レンズで困っていることがありましたらこの機会に皆さんで勉強しましょう。

資料の準備がありますので、事前に申し込みをお願いします。
所属、名前を以下のアドレスにご連絡ください。

Mail : study@myg-ort.com
締切 : 1/15 (水)

学術

コンタクトレンズ勉強会に関する アンケートご協力をお願い

2020年度みやぎ視能訓練士の会ではクーパービジョン・ジャパン株式会社様の協力の下コンタクトレンズに関する勉強会を企画したいと考えています。

開催時期や内容につきましては未定となっています。そこで会員の皆様に希望の開催曜日と内容についてアンケートを取らせて頂き、企画していきたいと考えております。聞きたい内容についてはどんな些細な事でも構いません、下記の方法でアンケートのご協力をお願い致します。

回答締め切りは **1/31** までとさせていただきます。

 QRコードを読みこむとアンケートフォームが開きます。



みやぎ視能訓練士の会 副会長
小野寺 真司